

# 令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年3月31日

学) 萩原学園 鶴川若竹幼稚園

## 1. 本園の教育目標

心身の健康を基本とし、知育・徳育・体育の三つを柱としてバランスのとれた人間育成を目指す。

## 2. 教育の柱

「体を鍛えることで諦めない心と自信を育てる」  
 「挨拶や着替えなど基本的な生活習慣を確立する」  
 「自分の思いを言葉にして伝える」

## 3. 目標・計画

「縄跳び・鉄棒の取り組み」

- ・全員が前跳び、後ろ跳び、逆上がりができるようになる。
- ・目標：前跳び100回、後ろ跳び100回、逆上がりができるようになる。

上記の取り組みを行うことで、諦めない心と自信を育てる。

## 4. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	幼稚園は、体力に向上のための適切な指導をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回（年少：火曜日、年中：金曜日、年長：木曜日）体育講師からの体育指導を受けた。</li> <li>・毎日の保育の中で、保育者と一緒に取り組んだ。</li> <li>・毎朝マラソンを実施（1～3月） 年少3分30秒、年中4分、年長5分</li> </ul>
2	幼稚園は、体力の向上に取り組んだ成果の発表の機会を工夫して行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10/5（土）運動会を実施した。</li> <li>・2/27（木）体操発表会（年長児）を実施した。</li> </ul>
3	幼稚園は、保護者に情報発信している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だより、クラスだより等で子ども達の成長を伝えた。</li> <li>・日々の保育をInstagram等でアップした。</li> <li>・運動会、体操発表会のライブ配信を行った。</li> </ul>
4	幼稚園は、保護者に教育活動を公開している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や保育参観を通して、子どもの活動や成果を見てもらった。</li> </ul>
5	幼稚園は、安全に配慮し怪我や事故について適切に対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄棒の下にグリーンマットを敷いている。</li> <li>・怪我をした際は迅速に処置、保護者への連絡等対応をした。</li> <li>・練習の際は、必ず保育者を配置した。</li> </ul>

## 5. 総合的な評価結果

令和6年度：年長児90名中、逆上がり：100%、  
 前跳び100回：99%、  
 後ろ跳び100回：99%

と結果はすべてが100%ではなかったが、高い達成率である。体育指導だけに頼らず、日々の努力の結果といえる。その目標を最後まで諦めずに目指す姿勢「諦めない心」「できたという自信」「もっとやりたい」というところまで導くことができた、という点において評価できる。また、頑張る友達を応援する、という姿子ども達同士の関わりで100%達成も素晴らしいことだが、そこを目指す過程での数字では表せない子ども達の成長にこの取り組みの本来の意味があるといえる。

## 6. 学校関係者の評価

入園してから縄跳び、鉄棒の取り組みを通して心と体を鍛えてきた子ども達。年長児はその発表の場として2/27に体操発表会を行った。この取り組みと実施結果を3/18に理事（3名）、評議員（3名）皆様に報告し、下記講評を頂いた。

開園当初から変わらない教育方針の基で行ってきた取り組みは、毎年一定の成果を出している。変わらない教育方針と取り組みは、子ども達は勿論、保護者にもよく理解されている。100%達成することも素晴らしいがそこを目指す過程に学びがあり、その意味を先生、職員の皆が理解して取り組んでいる姿に感動をもらった。今後も変わらぬ姿勢で頑張りたいと思う。